

平成 30 年度

## 科学教育若手教員研修会 中日本ブロック 岐阜大会 開催報告

1 研究テーマ 科学が好きな子どもを育てる指導の在り方  
～子どもが理科の見方・考え方を働かせ、主体的に問題解決するための授業改善～

2 開催期日 平成 30 年 6 月 23 日（土）、24 日（日）

3 開催会場 岐阜市少年自然の家（宿泊、研修）

〒501-2502 岐阜市山県北野 2081 番地 電話：058-229-2888 FAX：058-229-2933

### 4 実施内容

- (1) 開会式
- |            |             |         |
|------------|-------------|---------|
| ①支部長挨拶     | SSTA 岐阜副支部長 | 小倉 千佳子  |
| ②SSTA 本部挨拶 | SSTA 理事     | 宮澤 志郎 様 |
| ③財団挨拶      |             | 関根 好幸 様 |
| ④来賓紹介      | 事務局長        |         |
| ⑤諸連絡       | 事務局長        |         |

### (2) オリエンテーション

今回の若手研修会の研究テーマについて、岐阜支部研修リーダーの福地 浩太（郡上市立石徹白小学校）から、以下の点にふれながら、オリエンテーションを行った。

#### ① テーマについて

「科学が好きな子ども」とは、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決あるいは探究するために必要な資質・能力を身に付けた子どもの姿であるととらえる。つまり、「科学が好きな子どもを育てる」ことは、新学習指導要領の理科学習目標に示された、「資質・能力を育成する」ことそのものである。

そのためには、理科の授業の中で、子どもが理科の見方・考え方を働かせ、主体的に問題解決する姿を生み出すための指導の工夫が必要である。そして、小学校段階では問題解決の力を、中学校では科学的に探究する力を養うとともに、子どもたちが自己の高まりを自覚し、更なる問題へとアプローチしていく営みを繰り返していけば、「科学が好きな子どもを育てる」ことができると考える。

#### ② テーマの具現について（岐阜大会が目指すもの）

平成 31 年度には、全小理岐阜大会が行われる。岐阜県として、新学習指導要領を具現した授業を「理科が大好きな子どもの姿」で示すことができるように、取り組んでいるところである。そこで、若手教員の指導力向上を目的とする本会を通して、「科学が好きな子どもを育てる」ために、新学習指導要領の理解を深めるとともに、理科授業での具体を計画・実践することで、互いの指導観、教材観を磨き、今後の実践につなげていきたいと考えている。

### (3) 部会別研修

部会別研修は、右図のように 5 つの学年（6 グループ）に分けて研修を行った。事前に研修で授業検討する単位時間を指定し、指導略案を送付しておいたため、多くの研修員が指導構想を練ってくる姿が見られた研修のはじめは、単元や単位時間で働かせる見方・考え方は何か、本時子どもに付け

研修部会	研修単元
小学校 3 年	風やゴムで動かそう
小学校 4 年 A	物の体積と温度
小学校 4 年 B	物の体積と温度
小学校 5 年	電流が生み出す力
小学校 6 年	大地のつくり
中学校部会	からだのつくりとはたらき

きたい資質・能力は何か、これまでの実践上の課題はどういうところにあるのか、といった議論がなされ、授業改善の視点が焦点化されていった。研修指導員の助言もあり、どの部会でも、意図的な事象提示や既習内容との関連性など、単位時間の授業を構想するために、多面的な視点から授業を練る姿が見られた。また、研修の出口に、模擬授業形式での発表を位置付けたことで、子どもの具体的な姿や発言をイメージし、その上で教師の手立てを明確にしていく姿が多く見られた。



#### (4) 全体研修

生涯学習センターハートピア安八・天文台の船越浩海先生を講師にお招きし、天文教育に関する講義を実施した。前半は天文教育における自作のオリジナル天文教具の紹介や、講師がこれまでに実施された出前講座についての紹介がされた。後半は講師が開発されたオリジナルのペーパークラフト「月の形と位置立体早見盤」の作成を行った。研修員は作成を通して、教具の精密さについて驚きと関心を示していた。また、互いに相談しながら作成することを通して、仲を深めていく充実した時間であった。



#### (5) 各部提案発表

提案発表会では、どのグループも主張点を明確にした模擬授業形式での発表が行われた。その中でも、他のグループの発表に対して、展開の工夫や発問の質についての議論が積極的に交わされ、最後まで深まりのある研修であった。



#### (6) 閉会式

① 支部長挨拶

② SSTA 本部挨拶

③ 財団挨拶

④ 来年度開催県挨拶

⑤ 諸連絡

SSTA 岐阜副支部長

SSTA 理事長

愛知支部事務局長

小倉 千佳子

神谷 拓生 様

関根 好幸 様

池田 芳浩 様

#### 5 おわりに

中日本ブロック各地から 17 名の先生方が参加して行われた。研修員の先生方の前向きで熱心な姿勢に、これからの時代を担うであろう先生方の可能性を感じる部分が大きかった。また、岐阜支部のメンバーの指導力向上にもつながった。このような研究会が開催できたことに対して関係各位に感謝を申し上げるとともに、ソニー教育財団には、特段のご支援、ご配慮を賜ったことに深く感謝を申し上げたい。